

●経理上手くんα ProⅡ【宗教法人】Version:8.701

●経理上手くんαクラウド ProⅡ【宗教法人】・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ【宗教法人】Version:8.701

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ Atlas シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**宗教法人 d b (VERSION:8.701) の変更点**”を参照してください。

📌 **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 宗教法人 d b (VERSION:8.701) の変更点

## 修正

### I. 導入・更新

#### 1) データ抽出

- ①「原票イメージを対象とする」にチェックを付けて仕訳データを抽出した際、抽出先マスターの原票データの内容を管理する番号が重複してしまうケースがあり、その場合に原票ビューア等の業務で一括検証を行うと、エラー内容に「× ファイルが改竄されています。」と表示されていたため、抽出処理時に原票データの内容を管理する番号が重複しないように修正しました。  
※「原票イメージを対象とする」機能は電帳法対応オプション契約時の機能です。

### II. 登録・入力

#### 1) 元帳検索

- ①元帳検索で資金繰り諸口枝番を選択画面に表示する際に、選択番号が表示されていなかったのを修正しました。

#### 2) 新規会社登録・修正・削除

- ①作成済みマスターの“決算期間の変更”と“枝番・部門を「行わない」から「行う」に変更”するのを同時に行うと不正終了していたのを修正しました。

### III. その他

#### 1) クラウド共有に関する対応（共有オプション契約のみ）

- ①クラウド共有オプションの契約はしており、顧問先（上手くんα）にてプログラムがインストールされていない場合、会計事務所側で「共有オプション【マスター紐づけ】」において、共有マスターの登録が行えなかったのを登録が行えるようにしました。
- ②会計事務所、顧問先（上手くんα）の双方が SQL2012 でクラウド共有していて、その後会計事務所側がリプレイス（SQL2019）を行った場合、顧問先（上手くんα）側で SQL2012→SQL2019 へバージョンアップができない状態になっていたのを修正しました。

以上